

お世話になります

URL : <https://youtu.be/C5uQTr0hy-E>

今回は「お世話になります」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速くなり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立てください。

■私のこと

私の名前はマリアです。私はスペインから日本に来ました。今は東京に住んでいて、日本の大学に通っています。日本に来て二年になります。大学では日本語や日本の文化を学んでいます。日本での生活は新しい発見が多く、わくわくします。

私は日本語を勉強しています。学校のじゅぎょうだけでなく、生活の中でも学ぶことが多いです。買い物をするとき、友だちと話すとき、先生に質問をするとき、いつも日本語を使います。日本語の本を少しずつ読めるようになり、とても楽しいです。

私はコンビニでアルバイトをしています。コンビニでは毎日おきやくさんと話します。お金のやりとりや、あいさつのことばをたくさん使います。さいしょはとてもむずかしかったです。でも、少しずつことばをおぼえて、今は楽しくはたらせるようになりました。

日本にはあいさつのことばがたくさんあります。たとえば「ありがとう」だけでなく、「お世話になります」ということばもあります。コンビニではたらいでから、このことばをよく聞くようになりました。はじめは意味が分かりませんでした。でも、だんだんと「人と人のつながりを大切にすることば」だと気づきました。

■「お世話になります」の意味

「お世話になります」ということは、日本でとてもよく使われます。このことはただのあいさつではありません。相手に「いつもありがとうございます」や「これからよろしくおねがいします」という気持ちを伝えることばです。

英語にすると「Thank you for your help」や「I appreciate your support」に近い意味になります。でも、日本語の「お世話になります」はもっと広い気持ちをふくんでいます。ここで「世話」ということばの意味を考えてみましょう。「世話」にはいくつかの意味があります。

- ・ 気を配ってもらう、めんどろを見もらうこと
- ・ 人と人をつなぐこと（仲を取り持つこと）
- ・ 手間をかけること

このため「お世話になります」や「お世話になっております」には、つぎのような気持ちが入っています。

- ・ いつも気を配って、助けてもらいありがとうございます
- ・ 間に入ってつないでいただき、ありがとうございます
- ・ これからもごめんどろをおかけしますが、どうぞよろしくおねがいします

たとえば、新しいアルバイトを始めるときに、店長や先ぱいに「これからお世話になります」と言います。これは「これからいっしょにはたります。たすけてください。よろしくおねがいします」という意味です。まだ何もしてもらっていなくても、このことばで先にかんしゃの気持ちを伝えます。

日本では、人と人のつながりをとても大事にします。そのため、あいさつの中にも相手を思う気持ちが入っています。「お世話になります」はそのだいひょううてきなことばです。このことばを知っていると、ただ「ありがとう」では伝えにくいかんしゃの気持ちも表すことができます。

■仕事の場面を使う

「お世話になります」は、仕事の場面でとてもよく使います。

とくに日本の会社やアルバイトでは、このことばがあると会話がスムーズになります。

たとえば、メールのはじめに「いつもお世話になっております」と書きます。これは「いつもありがとうございます」という意味に近いです。本題に入る前に、まず相手にかんしゃの気持ちを伝えます。日本では、いきなりようけんだけを書くといねいではないと考える人が多いです。そのため、このことばはとても大切です。

かいぎや話し合いの前にも「本日はお世話になります」と言うことがあります。これは「今日はよろしくおねがいします」という意味です。相手にうやまいの気持ちを伝えることができます。

アルバイトを始めたときにも「これからお世話になります」と言います。私もコンビニでアルバイトを始めたときに、このことばを使いました。まだ何もしてもらっていないのに、なぜ「お世話になります」と言うのか、さいしょは分かりませんでした。でも、これは「これからいっしょにがんばります。よろしくおねがいします」という気持ちを表しているのだと知りました。

このように「お世話になります」は、仕事の場面で人間かんけいをなめらかにするやくわりを持っています。ていねいで安全なことばなので、どこでもだれにでも安心して使うことができます。

■まいにちの生活で使う

「お世話になります」ということばは、仕事だけでなく、まいにちの生活でもよく使います。日本で生活すると、人に手つだってもらうことや、新しい出会いがたくさんあります。そのようなとき、このことばを使うといねいに気持ちを伝えることができます。

たとえば、ならいごとの先生にあいさつをするときです。日本語の先生に会ったとき、「これからお世話になります」と言います。これは「これから学びます。どうぞよろしくおねがいします」という意味になります。先生もこのことばを聞くと安心してします。

また、マンションやアパートで生活するとき、近所の人やかんにんに会います。引っ越しをしたときに「これからお世話になります」といいます。近所の人「この人はていねいだな」と思い、安心してつき合うことができます。

コンビニや学校以外でも、このことばは使えます。たとえば、町のクラブに入るときや、ボランティア活動を始めるときです。まだ何もしてもらってなくても、「これからよろしくおねがいします」という気持ちを伝えることができます。

日本では人と人のつながりを大切にします。そのため、毎日の生活の中で「お世話になります」を知っていると、相手に安心をあたえることができます。このことばを使うことで、初めて会った人ともよいかんけいをつくりやすくなります。

ここで大事ななのは、「お世話になります」「お世話になっております」「お世話になりました」のちがいです。

- ・「お世話になります」＝これからかんけいが始まる時に使います。
- ・「お世話になっております」＝今もかんけいがつづいている時に使います。メールの書き出しなどでよく使います。
- ・「お世話になりました」＝かんけいが終わる時に使います。アルバイトをやめるときや、とめてもらったあとにかんしゃを伝えるときなどです。

このように、同じ「お世話」ということばでも、使う時のタイミングによって意味がちがいます。正しく使えば、日本の生活や人間かんけいをもっと安心して進められるようになります。

■友だちとの会話ではどう使う？

「お世話になります」ということばは、とてもていねいでフォーマルなことばです。学校やアルバイト、先生や上司との会話でよく使います。しかし、親しい友だちとの会話では、ふつうあまり使いません。

日本では、人と人のかんけいによって、ことばの使い方を変えることがあります。

たとえば、友だちとカフェに行くときや、いっしょに勉強するときに「お世話になります」と言うと、少しかたい感じがします。友だちは「なんでそんなにていねいな？」とふしぎに思うかもしれません。
そのかわりに、友だちにはもっとシンプルでやわらかいことばを使います。

- ・「よろしく」
- ・「ありがとう」
- ・「またね」

このちがいは、日本の文化にある「内」と「外」という考え方にかんけいしています。「内」は親しい人、「外」は少しきよりのある人をさします。「お世話になります」は「外」の人に使うていねいなことばです。友だちは「内」に入るので、もっとくだけたことばを使った方が気持ちが伝わりやすいのです。

つまり、「お世話になります」はべんりなことばですが、だれにでも使えばよいというわけではありません。初めて会う人や、先生、上司、近所の人など、ていねいにせつするひつようがある相手に使います。友だちやかぞくには、かたいことばよりもやさしく短いことばの方がしぜんです。このちがいを知っていると、日本での生活や会話がよりスムーズになります。

■にていることばをくらべよう

「お世話になります」とにた意味を持つ日本語は、ほかにもいくつかあります。外国の人にはちがいが分かりにくいかもしれません。ここでは三つのことばを紹介します。

一つ目は「よろしくおねがいします」です。これはとてもよく使うことばです。学校でもアルバイトでも、何かを始めるときに言います。「これからかわります。どうぞなかよくしてください」という意味です。「お世話になります」とちがうのは、もっと広い場面で使えることです。友だちにも、先生にも、だれにでも言えます。

ふため
二つ目は「ありがとうございます」です。すでにしてもらったことにたいして
かんしゃを伝えることばです。たとえば、店で買い物をしたあとに「ありがとう
ございます」と言います。「お世話になります」はこれからのかんけいに使
いますが、「ありがとうございます」は今やかこの行動にたいして使います。

みつめ
三つ目は「ごめんください」です。これは人の家に行ったときや、だれかのへ
やをたずねるときに使うあいさつです。「これから入りますが、よろしくおね
がいします」という意味をふくみます。「お世話になります」と同じように、
これからのかんけいを考えていることばですが、場面はもっとせまく、家やへ
やに入るときに使います。

このように「お世話になります」と似たことばはいくつかありますが、それぞ
れの場面やタイミングがちがいます。意味のちがいを知っておくと、日本での
生活や会話がもっと安心できるものになります。

■「お世話になります」がやく立つ場面

「お世話になります」ということばは、日本で生活する外国人にとって、とて
もやく立つことばです。学校でも、アルバイトでも、毎日の人間かんけいでも
使うことができます。

たとえば、日本でアルバイトをするときです。コンビニやレストランで初めて
はたらく日に「これからお世話になります」と言うと、店長や先ばいは安心し
ます。自分がまだ仕事をよく知らなくても、このことばを言うだけで「がんば
ろう」という気持ちを伝えることができます。

学校でも同じです。新しいクラスに入るときや、先生にあいさつをするときに
「これからお世話になります」と言うとよいです。先生やクラスの友だちは
「この人はていねいだ」と思って、すぐに話しかけやすくなります。

また、日本でホームステイをする人や、シェアハウスに住む人にもべんりです。
初めて会ったホストファミリーや同じ家の人に「これからお世話になります」
と言えば、すぐにやさしいふんいきになります。これは外国ではあまりない文
化かもしれませんが、日本ではとても大切です。

このことばを知っていると、人との会話が安心してできるようになります。ただ「ありがとう」と言うだけでは足りないとき、このことばを使えば気持ちをていねいに伝えることができます。

■これから使ってみよう

「お世話になります」ということばを知ると、日本での生活の見え方が少し変わります。これはただのあいさつではなく、未来にむけてのやくそくのようなことばです。「これからもいいかんけいをつくりたい」という思いが入っています。

たとえば、新しいサークルやクラブに入るときに使ってみるとよいです。まだ何も分からなくても、このことばを言えば「がんばろう」という気持ちを伝えられます。日本では、さいしょの一言がとても大事にされます。そのため、このことばを知っているだけで安心して始められます。

また、このことばを使うことで、自分自身も変わります。人に助けってもらうことや、教えてもらうことを前向きに受け入れる気持ちが生まれます。日本語の勉強やアルバイトの経験が、ただの学びではなく、人とのつながりを楽しむ時間になります。

「お世話になります」を口にすると、心の中で「一人ではない」と思えるようになります。日本の生活はときに大変ですが、このことばを知っていると、まわりの人としぜんにつながるすることができます。これから日本で生活をつづけるみなさんも、このことばを自分の毎日の一部にしてみてください。あいさつの中にやさしい気持ちをのせるだけで、人とのかんけいはもっと明るく、あたたかいものになります。

「お世話になります」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI